

一般質問



白石 議員

- 一、安全安心の教育施設の整備について
二、障害者の雇用対策について

質問

答 弁

一、(1)合併新市には小学校12校、中学校7校があるが、改正耐震基準に合致しない耐用年数が過ぎている危険な校舎、体育館が存在します。次代を担う子どもたちを安全、安心なよい環境で教育すること、即ち教育施設の整備は、最重要であると思いますが、市長の考えを聞かせてください。(2)子どもたちが安心して勉強ができて、先生方が使いやすい教育施設、教育環境づくりが必要だと思いますが、教育長の立場からいかがですか。

二、(1)障害者雇用促進法に定める雇用率を市役所、56人以上の民間企業は達成しているのか。(2)健常者の雇用もそうですが、障害者には厳しい環境にあり、複数の障害を持っている方もいます。保育所、小中学校等において、個々の障害に適した教育が進められ、これから先の人生を自立していくための能力開発に大きくかわっていくと思います。教育長のお考えをお聞かせください。それぞれ、人生設計に合った生きがいを見し、人生設計を立てる努力に行政の支援を期待します。

一、(1)学校施設は子どもたちが学び育てられる場所であり、安全であることが基本である。厳しい財政状況ではあるが、今後、財政健全計画の中で、なるべく学校の耐震施設整備に取り組んでまいりたい。(2)環境は人をつくるということを第一ポイントに置いている。また、学校施設は避難場所にもなる重要な場所であることも頭に入れて、改築、改修に取り組んでいきたい。

二、(1)平成19年度の報告では、法定雇用率が市長部局2.1%、教育委員会1.9%に対して、それぞれの実雇用者数が6人、1人となっており、法定雇用率を達成している。また、市内企業では、対象企業が8社あり、法定雇用率を達成しているのが6社、未達成2社となっている。(2)子どもたちは、一人一人本心にすばらしい特性を持っている。障害も生まれ持った特性であり、これをみんなが手を携えて指導し、見つけていけるような支援体制を今後とも進めてまいりたい。

一般質問



保久下 議員

- 一、架橋開通記念事業について
二、社会体育の現状とその取り組みについて

質問

答 弁

一、両岸からの工事が進み今年7月に閉合されいよいよ20年度末、順調に行けば来年3月に肥前鷹島大橋(仮称)が開通する。それに併せて記念事業をと考えているが、この大橋架橋は鷹島島民にとっての悲願成就であるのみではなく、松浦市にとってもこの地域をアピールする大きなチャンスと捉えている。(1)架橋開通の予定日はいつ頃になるか。(2)記念事業の計画はあるか。(3)民間の団体から提案等がある場合、市として協力の考えはあるか。

二、(1)子どもたちにおける社会体育についてはどのような位置づけがなされているか。(2)子どもたちの社会体育活動推進のために、現在数カ所に設置されている夜間照明施設について冬季期間に限り、小中学生の使用については減免措置を図り無料期間を設けるべきでは。(3)社会体育推進のために市職員の業務として取り組み、現在進められている総合型スポーツクラブに生かす考えはないか。その他、サンセットオーシャン道路の指定、行政無線の市内全域への配備等について質問しました。

一、(1)県の田平土木事務所に確認したところ、平成20年度内に工事を完成させるということで、開通予定日については明確な回答を得ていない。(2)開通記念事業については、まず県と市で協議を行い、その後、県と佐賀県で協議を行う予定となっている。(3)架橋事業の幅広い周知によって、いろいろな民間からの提案があらうと思われる。そこで、一定期間募集を行い、県とも話し合いながら、開通記念にふさわしい記念行事にしてまいりたい。

二、(1)現在、市内では少年ソフトボール等8種目33チーム、約530名の子どもたちが、日々練習に励んでいる。スポーツの普及・振興及び感動と活力を与える競技スポーツの推進と青少年の健全育成に大きな役割を果たしているものと考えている。(2)現在、100分の50の減免措置を行っており、今後、子どもたちの安全面等を考慮しながら、再度検討してまいりたい。(3)職員が持っている技能等を社会体育で活用することは、大変重要なことと考えるが、円滑な職務遂行を前提に職員の自主的な判断としたい。